

No.創出-共-3	複層的な植栽（中高木層・低木層・草本層の確保）
-----------	-------------------------

技術の目的

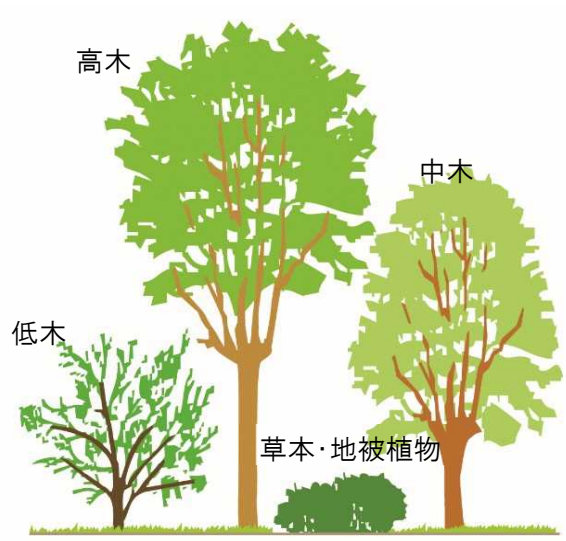
異なる高さの樹種を使い、複層的な植栽を整備することで、多様な生き物の生息場所の確保や緑陰の形成を図る。

導入する局面	創出	維持管理	利活用
適用空間	水域	陸域	

技術の内容・事例

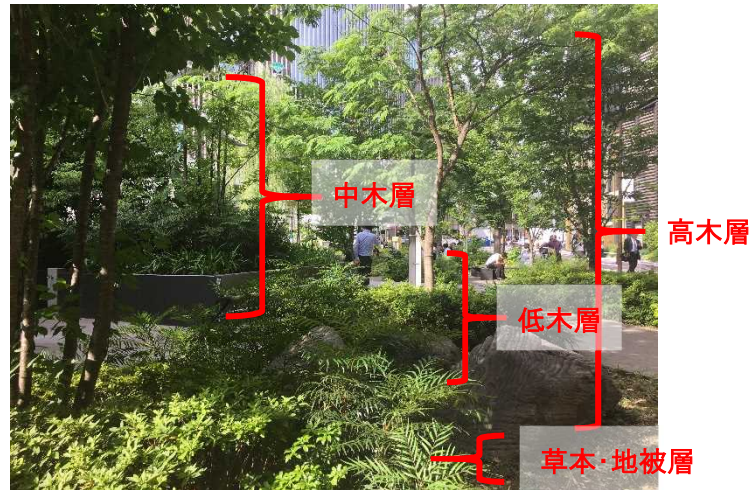
■技術の内容

1. 複層的な植栽の形成^{出典1}
 - ・ 植栽する場所の条件により、高木層、中木層、低木層、草本・地被植物を組み合わせ、多階層の植栽が形成されるよう、配慮する。
 - ・ 多階層の樹林では、それぞれの層の空間特性に合わせた多様な生き物の生息場所の確保が可能となる。



■導入事例

1. 複層的な植栽の事例



【事例：数寄屋橋公園（中央区）】

高木	シダレヤナギ、ネムノキ、ヤマザクラ、ケヤキなど
中木	ソヨゴ、トキワマンサクなど
低木	ドウダンツツジ、アセビ、ヤマブキなど
草本・地被植物	ササ類、ヤブラン、ツワブキなど

2. 外構緑化や道路での複層植栽の事例



【事例：中央区内（京橋スクエアガーデン）】

オフィスビルの外構スペースに中木・草本を組み合わせた植栽の事例



【事例：中央区内】

高木・低木・地被植物を組み合わせた道路植栽の事例

■出典・参考資料

- 1 東京都環境局「植栽時における在来種選定ガイドライン～生物多様性に配慮した植栽を目指して～」(平成26(2014)年5月)

https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/nature/green/green_biodiv/ns_guidelines.html

基本指針との関連

居心地がよく歩きたくなる 水と緑にかこまれたまち		水と緑を楽しみ 魅力とにぎわい にあふれたまち		水と緑が守り、育む 環境共生型のまち		緑が支える 防災・減災のまち	
良好な 景観形成	暑熱対策	人の集う場・ 活動の場		都市の 水管理	都市の生物 多様性確保	防災・減災	
○	○				○		

注) ◎：各基本指針の主要な機能として期待される項目、○：各基本指針の副次的な機能として期待される項目

期待される効果

環境			防災			福祉・教育			地域振興		商業・観光振興					
ヒートアイランド減少の緩和	都市における生物多様性の確保	水質改善	災害（火災・水害など）の軽減	災害時の復旧活動・支援拠点	災害伝承・防災教育の場	健康増進・介護予防	緑の景観によるストレス軽減	子育て支援	環境教育・自然とのふれあい	コミュニティの醸成	地域の自然観・郷土愛の醸成	都市の魅力・競争力の向上	不動産価値の向上	観光・商業振興	労働生産性の向上	労働環境の改善
●	●						●					●	●			